



# ▶▶▶プロフィール

**たむら・まさみち** 平成2年生まれ。三好高校3年。豊川市在住。身長174cm、体重63kg。階級は9月の国体時はライトウェルター級(60kg超過64kg以下)で出場し、プロボクサーとなった現在はスーパーフェザー級(リミット58.9kg)で登録。名古屋市内と蒲郡市内のジムに通いボクシング漬けの毎日を送る。

▶おおい国体決戦で「絶対に勝ってインターハイのリベンジを果たしたい」と強い気持ちで戦う田村君。



読売新聞社提供

## 瞳を輝かせて Brilliant Eyes

自分を育ててくれたすべての人に感謝

「チャレンジ!おおい国体」ボクシング競技少年男子ライトウェルター級優勝

田村 将道君(三好高校3年生)

「ア マチュアスポーツの祭典「チャレンジ!おおい国体」が9月から10月にかけて大分県内の各会場で開催されました。今回は同大会のボクシング競技少年男子ライトウェルター級で見事優勝した田村将道君を紹介します。」

もともとボクシングに興味があった田村君。中学校の修学旅行で訪れた横浜市内のボクシングジムで元世界チャンピオンの川嶋郭志選手に出会って影響を受けました。それ以来「いつか川嶋選手のようにになりたい」とボクシングやスポーツについて学ぶために、三好高校のスポーツ科学科へ進学。伝統のあるボクシング部に入部しました。「初めは練習で先輩たちに付いていけず、とて

もつらかったです。ボディーを打たれて倒れたり、走り込みで置いていかれたりしました」と田村君。しかし、毎日のように練習を続け努力することで、実力を蓄え2年生の時には全国高等学校ボクシング選抜大会などの全国大会に初出場し、国体の選手に選ばれるまでに成長しました。

アマチュアとして高校生最後の大会となった「おおい国体」。初戦で負けてしまった昨年の「秋田わか杉国体」の雪辱を果たそうと、今年の国体では絶対に優勝する」と強い決意を持って臨みました。まず初戦で、兵庫県代表に判定勝ち。2回戦は栃木県代表に不戦勝、準決勝では茨城県代表に判定勝ちと順調に勝ち上がりました。試合では足を使い持ち前のスピードを生かし、相手と間合いを取りカウンターで有効打を狙う得意のアウトボクシングで試合を優位に運ぶことができました。

そして迎えた決勝戦では、今年の夏のインターハイ準々決勝で惜しくも敗れた千葉県代表と対戦。警告による減点を受け、不利な展開の中、最終ラウンドに左フックでダウンを奪い形勢逆転。その後もボディーブローで相手の足を止めて最後まで攻め続け、判定勝ちを収め見事優勝に輝きました。「最終ラウンドは体力的に限界ぎりぎりです、とても苦しかったです。しかし、自分を応援してくれる人たちの声が力となって不利な展開でも頑張ることができました」と試合を振り返ります。

アマチュアでの優れた成績が認められ、特例でプロボクサーのライセンスを取得した田村君。「今の自分があるのは育ててくれたすべての人のおかげ。今後の活躍で恩返しをしたいと思います」と感謝の気持ちを忘れません。「世界チャンピオンを目標に努力し続けます」と大きな夢に瞳を輝かせます。



# Happy Birthday おめでとうお誕生日 12月

鈴木 愛莉ちゃん(三好下)

平成17年  
12月4日生

父・康孝さん 母・紀幹子さん

『将来はパパのお嫁さん』

好きな食べ物「大根のおみそ汁とピーマン」という、いとちゃん。大きくなったらプリキュアになってパパと結婚するんだって。きちようめんで活発ないとちゃんに「いつまでも弟の愛将」と仲良く、人の気持ちが分かる優しい子になってね」とお父さんとお母さん。



下川 夢佳ちゃん(新屋)

平成17年  
12月14日生

父・直史さん 母・京子さん

『お兄ちゃんと遊ぶのが大好き』

葵お兄ちゃんと遊ぶのが大好きなゆめちゃん。いつもみんなの前で歌ったり、幼稚園でつごをしたりして遊んでいるんだって。誰にでもきちゃんとあいさつができるゆめちゃんに「大きくなっても優しく、笑顔のすてきなゆめちゃんになってね」とお母さん。



伊藤 成那くん(三好丘あおば)

平成17年  
12月17日生

父・丈さん 母・桂子さん

『誰でも仲良くなれるよ』

人見知りせず、誰でも仲良くなれるせなくん。いつもキックボードに乗ってお母さんとお出掛けするんだって。元気いっぱい食べるのが大好きなせなくん「心も体も強く、みんなに優しくできる子になってね」とお母さん。



## ▲出場者募集

【2月のお誕生日コーナー】

▶応募期間＝平成21年1月5日から7日まで ▶対象＝2月生まれで3歳未満の児

▶応募方法＝秘書広報課へ電話で☎(32)8357

※12月生まれの応募は、20人でした。(抽選により掲載決定)

## ? 広報クイズ

問左のような暗号が書かれた手紙が届きました。この暗号は何と書いてあるのでしょうか。

(問題)

39、2、24、46、25  
4、20、26、3、12

(ヒント)

みよし→32、38、12  
あいち→1、2、17  
ねんまつ→24、46、31、18

【応募方法】①答え(例：クリスマス)②郵便番号③住所④氏名(ふりがな)⑤年齢⑥電話番号⑦広報みよしに対する意見、感想を記入し、はがき、ファクス、または電子メールで秘書広報課へお送りください。正解者の中から抽選で10人に、図書カード500円分をプレゼントします。

【あて先・送信先】

はがき：〒470-0295

三好町役場秘書広報課(住所の記入不要)

ファクス：FAX(34)60008

電子メール：hisayokoh@town.aichi-miyoshi.lg.jp

【締め切り】12月8日(月)必着

【11月号の正解と当選者】

答え：A、G、J(全55通正解54通)

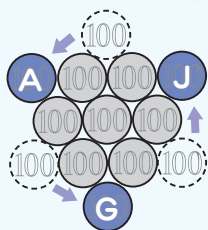
足立美智子、新井弘子、石

田紀美子、久野文彦、倉

田和磨、田中博、福重侑

香、船平富士子、山内富

美子、山田将二(敬称略)



※ご応募いただいた個人情報、抽選以外の目的では使用しません。抽選後は破棄します。



## 日ごろの活動に感謝

### 文化の日記念式典

町政に貢献していただいた皆さんを表彰する文化の日記念式典が11月3日、サンアートで行われました。式典では久野知英町長から自治や福祉、産業など各分野の72人と11団体へ日ごろの功績に対し、感謝状や賞状を贈呈しました。また第2部で記念講演「緑あるまち講演会」を開催。講師のNPO法人まちの縁側育み隊代表理事の延藤安弘さんが、絵本や写真のスライドを使ったテンポの良い話で、緑やまちの育て方を紹介しました。



## 例年以上の大盛況

### 産業フェスタみよし2008

産業フェスタみよし2008が11月2日、緑と花のセンターさんの郷で開催されました。町の農業や商業、工業を紹介し、地元産業を盛り上げようと毎年開かれているこのイベント。今年は4万1千人と例年以上の人が訪れ、買い物や催しなどを楽しみました。人気のブースや中央ステージには長蛇の列や人だかりができるなど会場は大盛況。子どもからお年寄りまで楽しい一日を過ごしました。



## 芸術の秋みつけた！

### 町制施行50周年記念三好町文化祭

「未来に広げよう文化の輪」をテーマに10月30日から11月3日まで、町制施行50周年記念三好町文化祭がサンアートで開催されました。展示発表では三好町文化協会の各部会が菊花や絵画、書道、写真、俳句などおよそ500点を展示。芸能発表では歌謡や琴、剣詩舞、舞踊などを11団体が披露しました。会場に訪れた人は素晴らしい作品の数々を眺めたり、芸能の歌声や音色に聞き入ったりして、芸術の秋を満喫していました。



## 災害に備え協力関係を強化

### ベシシアとの防災協定締結

株式会社ベシシアと三好町との「災害時における生活必需品等の供給協力に関する協定」の締結式が11月5日、役場で行われました。初めにベシシア三好店店長の関田晶仁さんと久野知英町長が協定書を交換。久野町長が「町の備蓄だけでは限界があり、たいへん心強いです」とあいさつしました。また関田さんは「物資の活用などで町民の皆さんにご協力できることをうれしく思います」と話し、万に備えて協力を誓いました。



## 文化財が語る三好<sup>れき</sup> 歴

### みよしの歴史探訪～ふるさと探検ツアー～

町内の文化財などについて知ってもらおうと11月1日、ふるさと探訪ツアーが行われました。参加した26人は福田の眼科医として知られる酒井家の金毘羅宮や「みよし」の地名にゆかりのある医王寺<sup>いおうじ</sup>、黒笹にある平安時代の窯跡など町内7カ所を見学。現地ですべての歴史や伝承などについて話を聞き、三好の歴史ロマンに触れました。女性の一人は「初めて見る場所ばかりで、とても面白かったです」と笑顔を見せていました。



## トップレベルの試合を観戦

### 第33回日本ハンドボールリーグ三好大会

日本ハンドボールリーグ三好大会が11月8日、総合体育館で開催されました。エキシビションマッチでは三好高校と日本ウエルネススポーツ専門学校が対戦。続いてリーグ戦でHC名古屋とソニーセミコンダクタ九州、トヨタ自動車と琉球コラソンの試合が行われました。白熱した試合は、ソニーセミコンダクタ九州と琉球コラソンがそれぞれ勝利。また一般参加の抽選会なども開かれ、およそ500人の観客がイベントを楽しみました。

